

加藤子華書の世界

KATO Shika — 書の美を求めて —



2025年

5月31日 [土]

— 7月21日

[月・祝]

午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

入館料 一般1000円(4枚セット券3000円) /

大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

主催：公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

後援：中日新聞社、朝日新聞社、読売新聞社、三重テレビ放送

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム

■お車をご利用の場合 / ○東名阪「四日市IC」より湯の山温泉方面へ約6.5km ○新名神「菟野IC」より約4km ■無料駐車場有り(普通車100台、大型バス駐車可)
■電車をご利用の場合 / 近鉄「四日市駅」より近鉄湯の山線にて約25分、「大羽根園駅」下車、湯の山温泉方面へ300m ■全館バリアフリー、車椅子常備

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077

<https://www.paramitamuseum.com> E-mail: office@paramitamuseum.com Facebook: [paramitamuseum](https://www.facebook.com/paramitamuseum) X: [paramita_muse](https://twitter.com/paramita_muse) Instagram: [paramitamuseum](https://www.instagram.com/paramitamuseum)

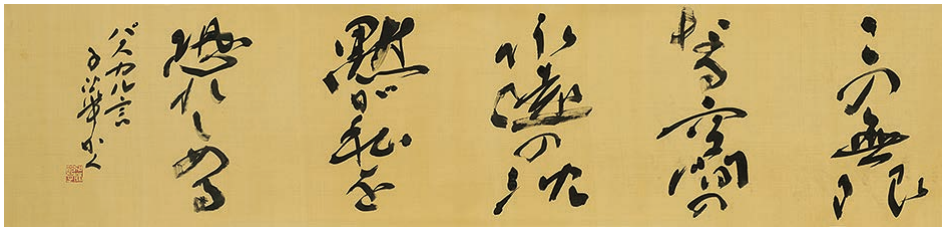
『夢』


paramitamuseum



私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。

加藤子華 書の世界



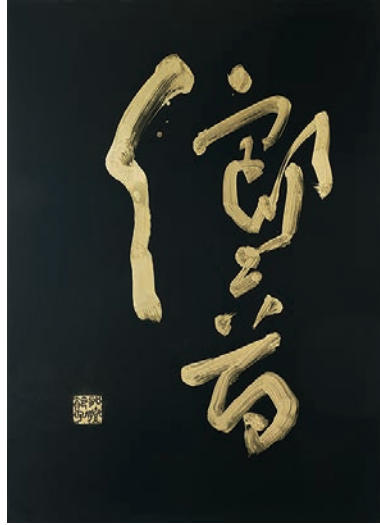
パスカル言



福如雲



献



響



鴛鴦之契



日展第五科「書」の会員として、日本書壇を優に半世紀を超えて牽引してきた加藤子華(1938-、三重県四日市市生)の米寿を記念する展覧会を開催いたします。

中国の書法には、東晋の王羲之を宗とし、行草書の柔媚さをもつばらとする帖学派と、北魏などの古代碑の石刻文字がもつ堅固な構造力と質感に、書法の原点を認める碑学派に分類する考えがあります。

子華の作品のあり方には、とことん書技の妙絶を尽くす一方、筆脈をつとめて抑え、筆圧を加え続けて、書技をそぎ落としたかのごときものもあります。つまり前者は帖学に準じたものであり、後者には碑学の精神が潜在しています。この帖学と碑学の建前を自在に使い分ける帖碑兼備の書法精神こそが、子華の世界であるといえます。

書道は流儀を伝承することを定めとする一方で、芸術であるからには独立した個性が確立されなくてはなりません。流儀か個性かの矛盾への向き合い方はたやすいものでなく、子華の書には、明確にその克服があり、独自の追求があります。

今回展示する作品は、大小にかかわらず、それぞれに子華ならではの表現性が発揮されています。この機会に、その多岐にわたる書技と境懐の到達をお楽しみください。

略歴

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| 昭和13年(1938) | 三重県四日市市に生まれる |
| 31年(1956) | 三重県立四日市高等学校卒業
日展初出品初入選、以後31回入選 |
| 33年(1958) | 青山学院女子短期大学卒業 |
| 35年(1960) | 大東文化大学日本文学科卒業
木村知石に師事 |
| 55年(1980) | 東大寺昭和大納経揮毫 |
| 58年(1983) | 毎日書道展大賞受賞 |
| 59年(1984) | 三重県文化奨励賞受賞 |
| 60年(1985) | 甫田鶏川に師事 |
| 平成10年(1998) | 第30回日展特選受賞 |
| 14年(2002) | 第34回日展特選受賞 |
| 21年(2009) | 第41回日展審査員推挙 |
| 22年(2010) | 日展会員推挙 |
| 27年(2015) | 三重県文化大賞受賞
第1回個展(東京銀座画廊・美術館) |
| 28年(2016) | 第2回個展(四日市市立博物館)
改組新第3回日展審査員推挙 |
| 令和元年(2019) | 文化庁地域文化功労者として文部
科学大臣表彰 |
| 6年(2024) | 第3回個展(澄懷堂美術館) |

会期中のイベント パラミタコンサート「*****」

日 時:2025年6月29日(日) 午後2時～3時

演奏者:尾高詩音里(ヴァイオリン)、江野藍子(ピアノ)

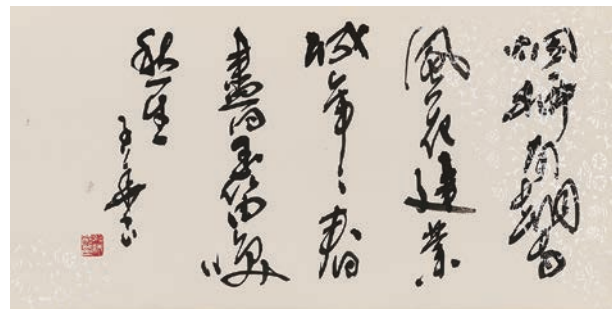
参加料:無料(要入館券) ※イベントは諸事情により、変更になる場合がございます



同時開催

第19回パラミタ陶芸大賞展

paramitamuseum



王漁洋詩

次回予告

「ひろしま美術館コレクション フランス印象派から日本の近代洋画まで」 2025年7月26日(土)ー9月28日(日) ※会期中無休

ひろしま美術館は、日本で現在も高い人気を誇る印象派を中心に、19世紀はじめのロマン主義から20世紀前半のエコール・ド・パリに至るフランス近代美術と、さらに、それらに影響を受けた日本の近代美術を収集し、国内有数のコレクションを築いています。

今回は、その貴重な作品群から、クールベ、モネ、ルノワール、ピカソなどフランス近代美術の各流派を代表する巨匠たちの作品、および同時代のフランス絵画に影響を受け、日本近代洋画の礎を築いた黒田清輝や、パリを拠点に活動した佐伯祐三などの日本人美術家の作品、あわせて約70点を一堂に展覧いたします。